



Sustainable Community Center Japan

NPO

New Public Organization
欲しいものは自分達で創る

2017 年度 活動報告書

2017 年 1 月 1 日～2017 年 12 月 31 日

2018 年 2 月 2 日

特定非営利活動法人
日本サステイナブル・コミュニティ・センター
<http://www.sccj.com/>

目次

はじめに 「2018年度の報告と今後の抱負」

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル ネット」
 - 1-1. どこカル ネットの活動概要
 - 1-2. どこカル ネットのサービス概要
 - 1-3. どこカル ネットの各種活動実績
 - 1-4. どこカル ネット運営体制

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業
 - 2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要
 - 2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績
 - 2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」
 - 3-1. アグリライフの活動概要
 - 3-2. アグリライフの各種活動実績
 - 3-3. アグリライフの運営体制

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）
 - 4-1. 京都研究会

5. 広報・マーケティング
 - 5-1. 各種メールマガジンリスト運営
 - 5-2. Web サイト運営

6. 会員について

II センター運営に関する活動

1. 総会開催
2. 2017年度 SCCJ 理事会開催日
3. 事務局体制
4. 理事、監事、顧問

はじめに 「2017 年度の報告と今後の抱負」

特定非営利活動法人日本サスティナブル・コミュニティ・センター（SCCJ）は、2017 年度の活動を終えて新たな年度に入ろうとしています。今年度の報告を申し上げますとともに、新たな年度とその後に向けての抱負を一言申し上げます。

SCCJ の中心的な活動の一つとなっています「どこカル. ネット」では、2017 年度においても、ポケットカルテの開発を鋭意進めるとともに、例年通り「未来のお医者さん看護師さん」の作文コンクールの実施、そして地域 ICT 利活用広域連携事業「地域共通診察券（すこやか安心カード）発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」を進めてまいりました。総務省や地方自治体との連携の下に、単なる電子カルテ事業ではなく、地域の健康政策との連携協力の下に、新たな健康づくりのスキームを幅広く全国に展開するべく努力を重ねてきています。そのために毎月の「どこカル. ネット」会員研修会には、多くの会員の方々のご参加を得ています。

一年間の活動の集大成の場であり、社会への発信の場でもあります恒例の「京都研究会」は、2018 年 1 月 19 日に「IT で持続可能にできるか？人口減少社会」と題して、今回は同志社大学烏丸キャンパスにおいて開催されたところです。昨年度の「IT が拓く持続可能社会」というテーマに引き続いて、昨今、具体的に問題になっている人口減少社会の影響をどのように持続可能に受け止めていくことができるかという観点から開催されたところです。情報通信技術による技術的、経済的、そして社会的なイノベーションを通じて、急激な社会変化である人口減少という問題に対して、よりよい解決策を考えてきましたが、こうした活動は今後とも着実に進めていきたいと思っています。

SCCJ はこれまでと同様に、持続可能な社会の構築に向けて着実に努力を重ねたいと考えております。新年度において、新たな事業が大きく展開される状況には必ずしもありませんが、その一方では、私たちが依拠してきた ICT 社会の技術革新はこの 1 年間、多くの皆様のご支援を賜りましたことに御礼を申し上げますとともに、今後一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます次第です。

2018 年 2 月吉日

特定非営利活動法人

日本サスティナブル・コミュニティ・センター

代表理事 新 川 達 郎

I センター事業活動実績

1. ユビキタス地域健康・医療・福祉情報ネットワーク事業「どこカル. ネット」

<http://www.dokokaru.net>

1-1. どこカル. ネットの活動概要

どこカル. ネットは、近年、少しずつ普及しはじめた医療機関毎の電子カルテシステムをインターネット上で安心・安全に相互利用するための仕組みをつくることで、いつでも、だれでも、どこでも、安心・安全で質の高い医療を受けることが出来るような（すなわち、どこでもカルテが見ることが出来るような）地域の情報化を住民の手で実現しようというプロジェクトとして、2004年5月に開始。

「どこカル. ネット」プロジェクト開始以前に、北岡顧問が支援してきた3つの二次医療圏を経て、現状、50の二次医療圏の地域中核病院に対して標準化型電子カルテの導入支援や情報化支援を行っている。

また、2008年10月より、個人の健康履歴（検診データ管理、紹介状管理、入退院サマリー）を、インターネットを介して携帯端末やPCを用い、個人主体で管理可能なサービス「ポケットカルテ」の本サービスを開始している。

1-2. どこカル. ネットのサービス概要

■特徴：いつでも、どこでも、だれでも、安心安全で質の高い医療を受ける事が出来る社会的な仕組み作り

【1】 いつでも：ASP型電子カルテをツールとして、「かかりつけ医（診療所）」と「病院」で24時間体制の連携を目指し、診療情報の共有（一地域一患者一電子カルテ）を行う。（注：ASP型電子カルテとは、インターネットエクスプローラーなど、ホームページ閲覧ソフトのみで利用可能な電子カルテのことである。）

【2】 どこでも＝ユビキタス：「みあこネット方式普及支援事業」プロジェクトとの協業により、医療機関内だけでなく、患者＝住民の自宅や外出先での急病で初診した医療機関、救急現場に居合わせた医療関係者に過去の診療情報を共有やその情報に基づく適切な医療が可能。

【3】 だれでも：ITコンソーシアム京都（京都府・京都市・京都商工会議所と有識者で構成）医療情報化部会との協業で進められている「共通診察券（無償）」を持つ事で、適切な医療を受けることが可能。

【4】 安心安全：「みあこネット方式普及支援事業」の高度なセキュリティを持った公衆無線インターネット用アクセスルータ（無線基地局）を利用。また、医療従事者や患者＝住民の識別や認証には、「共通診察券」と「指静脈紋認証（生体認証のひとつ）」を組み合わせている為、世界最高レベルの環境を提供している。さらに、診療情報の共有により、薬アレルギーや現在内服中の薬との飲み合わせのチェック等がその場で可能。→医療過誤防止へ。

【5】 質の高い健康・医療・福祉：共有されている診療情報の内、本人のご承諾が得られた情報については匿名化し、「その地域の住民特有の」健康・医療・福祉情報として統計解析し、「その地域の住民に最適な」健康・医療・福祉環境を探求する。また、解析結果を基に、一人一人の住民に最適な健康・医療・福祉をテラーメイドで提供。

1-3. どこカル. ネットの各種活動実績

2017年度は以下の活動を実施した。

■「どこカル. ネット」事業会議

週1回、北岡顧問、スタッフ一同で定例会議を実施。2017年度においては計44回の会議を開催した。

■ 医療機関・学術団体向けの医療情報システム・医療関連システム導入・構築・更新に対するコンサルテーション

医療機関側に不足しがちな IT スキルを補い、助言をし、医療機関と同じ立場で導入ベンダと交渉等を行う。また、医療情報を適切に扱う体制作りや、問題解決に対する助言、支援を実施。2017 年度終了迄に定期的な支援を行った医療機関は 50 病院。

■ 「ポケットカルテ」～個人向け健康情報管理サービス～の普及活動

「ポケットカルテ」は当法人顧問である独立行政法人国立病院機構京都医療センター医療情報部長北岡有喜博士が企画・考案し、当法人がサービスを提供している個人向け健康医療福祉履歴情報管理サービス (PHR : Personal Health Record) で、利用者は、専用のサイト「ポケットカルテ」に会員登録し、携帯電話・PHS、スマートフォン、パソコンなどの情報端末から自身の健康・医療・福祉の情報を管理することができる。

2008 年秋からサービスの提供を開始し、様々なメディアで紹介され、正式サービス開始から 4 ヶ月間 (2009 年 1 月時点) で、10,000 ユーザーを突破した。サービス開始当初に対応していた携帯電話・PHS に加え、普及が目覚ましいスマートフォンやタブレット端末にも対応し、より多くのユーザーが快適に利用できるようになり、現在 (2017 年 12 月末時点) 56, 446 人のユーザーが実利用している。

2011 年 11 月より開始した「ポケットカルテ電子版お薬手帳」サービスでは、医療機関で発行される領収書に印字された「2次元バーコード (QR コード)」経由で、調剤情報、及び、医療費明細書情報をポケットカルテに取り込むことができる。

2015 年 7 月にリリースした iOS 版ポケットカルテの新たな QR コード読み取り機能により、保健医療福祉情報システム工業会 (JAHS) が推奨する QR コードの読み取りにも対応したため、現在 (2017 年 12 月時点) では、全国 2~3000 店舗の調剤薬局が対応薬局となった。

2017 年 11 月にポケットカルテの iOS アプリの新バージョン (2.0) を AppStore にリリースした。今回のバージョンアップで母子健康手帳の記録・閲覧機能が追加された。

① 一般社団法人ケーブルテレビ連盟との協業によるケーブルテレビ事業者への「ポケットカルテ」の提供

現在、一般社団法人ケーブルテレビ連盟と協業することで、J:COM グループ以外のケーブルテレビ事業者に対して、自宅のテレビから「ポケットカルテ」にアクセスして自身の受診履歴や薬歴を簡単に閲覧できるサービスを提供するための取り組みを行っている。特に、全国のケーブルテレビ事業者が随時導入を進めている新製品「Smart TV Box」を活用して、受診履歴・薬歴データが自動的にデータ転送される装置として使用できるように、昨年度より継続して作業を進めている。

② 競争的資金による研究や各学会におけるポケットカルテ利活用の広がり

厚生労働科学研究費難治性疾患等克服研究事業 (難治性疾患克服研究事業) 「小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究」(田口班) 等、競争的資金による研究がなされ、各学会等においてもポケットカルテの利活用が広がっている。

■ 地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業

昨今の医療の高度化や患者ニーズの個別化・多様化により、医療機関への負担が増加しているにも関わらず、京都府では医療機関の減少が続いている。このため他の都道府県と同様に、地域医療格差・医師偏在、救急患者や妊婦のたらい回しなど、地域医療における課題が顕在化しつつある。

これらの課題を解決するため、当法人を代表とし、京都市・宇治市・城陽市・久御山町・奈良県生駒市の推薦を受け、平成 22 年度・23 年度に、総務省「地域 ICT 利活用広域連携事業」に「地域共通診察券 (すこやか安心カード) 発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」(以下、「地域共通診察券事業」とする) を提案し、採択された。

地域共通診察券事業は、上記「ポケットカルテ」を情報基盤とし、地域共通診察券発行・健康医療福祉履歴管理・医療圏リソース管理を統合的に提供することにより、地域医療に関わる医療資源 (医療従事者・医療機器・設備) をひとつの仮想巨大医療機関とみなして有効活用し、質の高い安心・安全な地域医療提供体制を確立するための情報基盤整備を目的としている。



サービス概念図

2012年3月で総務省「地域ICT利活用広域連携事業」は終了したが、自立的に地域共通診察券事業を継続し、対象地域の拡大、広報活動などを行った。2013年12月には京都府京田辺市、2014年には愛知県名古屋市（名古屋掖済会病院）でサービス提供を開始し、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」が利用可能な医療機関は、102件（18病院、36診療所、48調剤薬局、2017年12月時点）となった。また、京都府腎臓病患者協議会などと連携し、広報活動を行うことにより、「地域共通診察券（すこやか安心カード）」の実利用者数は23,768名（2017年12月20日時点）となった。

■ 北海道帯広市「総務省平成28年度補正予算 ICT まち・ひと・しごと創生推進事業に係る提案の公募」

平成28年12月2日、帯広市から北海道総合通信局に企画提案書を提出し、無事受理された。

平成28年12月22日、総務省情報通信政策課からのヒアリングが実施された。

平成29年2月8日、帯広市から総務省へ申請書類一式が提出され、平成29年2月27日、補助金交付が決定された。

本年度は「個人番号カード活用による電子お薬手帳等 Android IP-STB 向けアプリケーション連携機能開発」を進めており、平成29年11月6日よりフィールド試験が開始した。平成29年12月20日時点で7名のモニターユーザーが利用している。

■ 平成28年度「地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会」ならびに「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会の実施

地域共通診察券事業の進捗状況の共有と、今後の事業展開等についてのディスカッションを行うため、毎月第3木曜に運営協議会を実施した。また、同日同会場にて、地域共通診察券事業に関連するテーマにおける「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会を実施した。

<地域共通診察券（すこやか安心カード）運営協議会 開催日>

平成 29 年 1 月 19 日	第77回「地域共通診察券運営協議会」 第68回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 2 月 16 日	第78回「地域共通診察券運営協議会」 第69回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 3 月 16 日	第79回「地域共通診察券運営協議会」 第70回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 4 月 20 日	第80回「地域共通診察券運営協議会」 第71回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 5 月 18 日	第81回「地域共通診察券運営協議会」 第72回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 6 月 16 日	第82回「地域共通診察券運営協議会」 第73回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 7 月 20 日	第83回「地域共通診察券運営協議会」 第74回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 8 月 17 日	第84回「地域共通診察券運営協議会」 第75回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 9 月 21 日	第85回「地域共通診察券運営協議会」 第76回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 10 月 19 日	第86回「地域共通診察券運営協議会」 第77回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 11 月 16 日	第87回「地域共通診察券運営協議会」 第78回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
平成 29 年 12 月 21 日	第88回「地域共通診察券運営協議会」 第79回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会

今後も、「ポケットカルテ」「地域共通診察券（すこやか安心カード）」を通して、医療の情報化、地域住民の健康増進への貢献、電子行政サービスの普及を推進し、さらに利用者の統計データの活用により新しいサービスを創造することを目指していく。



写真：地域共通診察券運営協議会での様子

■ 「どこカル. ネット」会員研修会

本プロジェクトの概要と現状、進捗状況等について情報共有すると共に、会員互の連携・親睦を図る機会として2ヶ月に一度開催。2017年度においては6回の研修会を開催した。

<研修会開催日>

- ・ 2017年1月27日（金） 第74回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2017年3月17日（金） 第75回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2017年5月19日（金） 第76回どこカル. ネット会員研修会
- ・ 2017年7月21日（金） 第77回どこカル. ネット会員研修会

- ・ 2017年9月22日（金） 第78回どこカル．ネット会員研修会
- ・ 2017年11月17日（金） 第79回どこカル．ネット会員研修会



写真:会員研修会での様子

■ 「未来のお医者さん・看護師さん作文コンクール」の実施

将来の医療従事者の育成・発掘、また創造的な医療分野の開拓を目的とし、小学生を対象とした作文コンクールを実施。

第13回目の開催となる2017年度は、全国の小学生から作文が応募され、全国各地偏りなく400字詰めいっぴいに書かれた力作が多く集まった。最優秀賞該当作品はなかったものの、未来の医療に対し多くの子供達が夢を抱いていることがどの作品からも読み取ることができ、開催の意義が感じられた。

■ 2017年の主なイベント一覧

- ・ 01月05日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月12日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月19日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月19日：第77回(平成28年度第10回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 01月19日：第68回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 01月26日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 01月30日：【総務省】平成28年度ICT地域マネージャー会議/地域情報化アドバイザー会議開催
- ・ 02月01日：広島市議様ご視察
- ・ 02月02日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月06日：【公明新聞】掲載「ポケットカルテ」で健康守る 診療記録を一元管理システム開発者と意見交換
- ・ 02月09日【地域情報化アドバイザー】関西支部会議開催
- ・ 02月16日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月16日：第78回(平成28年度第11回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 02月16日：第69回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 02月23日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 02月24日：【南国市】南国市健康ポータル事業シンポジウムにて講演
- ・ 02月27日：【福岡県嘉麻市議会】行政視察(京都医療センター)
- ・ 02月27日：OTC医薬品についてのアンケート開始
- ・ 03月02日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月02日：【J-LIS】経営審議委員会(地方公共団体情報システム機構)
- ・ 03月16日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月16日：第78回(平成28年度第12回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 03月16日：第69回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 03月23日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 03月30日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月06日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月12日：【長岡市議会事務局】行政視察(京都医療センター)
- ・ 04月13日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月14日：【広島市役所訪問】健康福祉局保健医療課訪問(広島市役所)

- ・ 04月15日：【明治国際医療福祉大学】健康フェスタにてポケットカルテ講演
- ・ 04月15日：【明治国際医療福祉大学】健康フェスタでOTC医薬品についてのアンケート実施
- ・ 04月19日：Skype【IPA】一次審査合格者決定会議：第3回「先進的IoTプロジェクト支援事業」
- ・ 04月20日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月20日：第80回(平成29年度第1回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 04月20日：第71回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 04月21日：プラメド社、大日本印刷社、OTC医薬品協会来訪
- ・ 04月24日：【豊岡市役所】総務省公募の件で訪問
- ・ 04月25日：Skype【IPA】IoT成果報告会に参加
- ・ 04月27日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 04月27日：【鳥取県智頭町】町長訪問
- ・ 05月11日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月11日：【八幡市堀口市長様】ご面談
- ・ 05月17日：【J-LIS】第14回経営審議委員会
- ・ 05月17日：【IPA】二次審査：第3回「先進的IoTプロジェクト支援事業」(文京グリーンコート(IPA))
- ・ 05月18日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 05月18日：第81回(平成29年度第2回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 05月08日：第73回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 05月18日：【八幡市堀口市長様】ご面談
- ・ 05月25日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月15日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月15日：第82回(平成29年度第3回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 06月15日：第73回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 06月15日：【J-LIS】第15回経営審議委員会)
- ・ 06月15日：都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会
- ・ 06月15日：【IPA】第3回先進的IoTプロジェクト支援事業会議
- ・ 06月21日：【ITコンソーシアム京都】第12回委員会・総会
- ・ 06月22日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 06月22日～23日：【帯広市】キックオフミーティング予定
- ・ 06月29日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月06日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月13日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月20日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月20日：第83回(平成29年度第4回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 07月20日：第74回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 07月26日：【行政視察】練馬区議会議員様ご来訪
- ・ 07月27日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 07月26日：【行政視察】練馬区議会議員様ご来訪
- ・ 08月02日：【行政視察】新潟市民厚生常任委員会様ご来訪
- ・ 08月03日：【行政視察】大分県豊後高田市議会社会文教委員会様ご来訪
- ・ 08月03日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月17日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 08月17日：第84回(平成29年度第5回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 08月17日：第75回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 08月24日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月07日：【帯広市】「すこやかネット事業システム開発及び検証業務第1回定例会
- ・ 09月08日：【透析医学会統計調査委員会】
- ・ 09月14日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月14日：【KCG】情報誌アキュームの取材(京都医療センター)

- ・ 09月21日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月21日：第85回(平成29年度第6回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 09月21日：第76回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 09月22日：どこカル. ネット第78回会員研修会
- ・ 09月27日：八幡市長とご面談
- ・ 09月28日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 09月29日：宮崎市長とご面談
- ・ 10月05日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月06日：智頭町長とご面談
- ・ 10月12日：Skype【IPA】メンター会議
- ・ 10月12日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月19日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 10月19日：第86回(平成29年度第7回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 10月19日：第77回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 10月20日：【近畿総合通信局】局長様他ご一行とご面談
- ・ 10月23日：【IPA】マイルストーン会議
- ・ 10月23日：【J-LIS】第16回経営審議委員会
- ・ 10月26日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月02日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月06日：【地方自治法施行70周年記念セミナー】登壇(京都市文化会館)
- ・ 11月09日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月16日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 11月16日：第87回(平成29年度第8回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 11月16日：第78回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 11月17日：どこカル. ネット第79回会員研修会
- ・ 11月20日：【近畿総合通信局】地域情報化アドバイザー会議
- ・ 11月27日：Skype【IPA】メンター会議
- ・ 11月30日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月07日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月14日：【地域IoT実装推進セミナーin東北】にて講演
- ・ 12月18日：【しばじクリニック】来訪
- ・ 12月21日：定例会「ポケットカルテ」「地域共通診察券(すこやか安心カード)」プロジェクト定例会
- ・ 12月21日：第88回(平成29年度第9回)「地域共通診察券(すこやか安心カード)発行による安心・安全な健康医療福祉情報基盤整備事業」運営協議会
- ・ 12月21日：第79回「ポケットカルテ」「地域共通診察券」合同勉強会
- ・ 12月27日：【社会医療法人祥和会】脳神経センター・大田記念病院理事長大田様とご面談

1-4. どこカル. ネット運営体制

■ 運営体制 <http://www.dokokaru.net/modules/tinyd0/index.php?id=7>

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
事業運営責任者	事業統括責任者兼務	
総括技術責任者	事業統括責任者兼務	
技術運用責任者 (情報通信技術担当)	小森 由宗	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター
財務責任者	事業統括責任者兼務	

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
國領 二郎	慶應義塾常任理事

【企業/企業会員】

種別	企業名	企業名
企業会員	アイテック阪急阪神株式会社	大日本印刷株式会社
	株式会社アドバンス・メディア	株式会社テノ.ホールディングス
	株式会社医用工学研究所	となみ衛生通信テレビ株式会社
	株式会社インスパイア	株式会社ナイス
	亀田医療情報株式会社	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
	京都電測株式会社	日本システム開発株式会社
	株式会社KCN京都	日本デジタル配信株式会社
	KDDI株式会社	株式会社ハートネットワーク
	サクサ株式会社	株式会社フェイス
	サトーヘルスケア株式会社	富士通株式会社
	ジャパンケーブルキャスト株式会社	株式会社ミライテクノ
	ジュピターテレコム株式会社	メディカル・データ・ビジョン株式会社
	財団法人聖マリアンナ会	リコージャパン株式会社
	スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社	

他7社、計34社（50音順、2017年12月末現在）

2. 公衆無線インターネット事業「みあこネット方式」普及支援事業

<http://www.miako.net/>

2-1. みあこネット方式普及支援事業の事業概要

みあこネットとは、市民の手で自分の住んでいる地域を情報化しようというプロジェクトで、当法人の呼びかけにより2002年5月から広がり、市民有志の負担でアクセスポイントを設置・運用する活動である。企業内、家庭内におけるネットワークへ、安心・安全に基地局を運営し、また利用者にとっても簡単に公衆でインターネット接続を利用できる方法として、VPNを利用した「みあこネット方式」を提唱し、同方式の普及支援活動を実施してきた。

プロジェクト開始から2005年3月末までの3年間は、SCCJを運営母体とする実証実験を実施。2005年4月～2008年3月末は、京都の地域プロバイダ「京都アイネット」での商用運用の採用があり、地域内情報バリアフリーの一役を担った。同社は2008年3月をもって、「みあこネット方式」を用いた商用運用を終了している。

2008年4月からは、「みあこネット方式」に準拠したサーバをパッケージ化し、京都大学や京都医療センター独自の運用として自律分散的に運用されてきた。現在は新たなプロジェクトを休止している。

2-2. みあこネット方式普及支援事業の各種活動実績

本年度の活動実績なし

2-3. みあこネット方式普及支援事業の運営体制

■ 運営体制 <http://www.miako.net/about/organization.shtml>

【みあこネット責任者】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

3. 暮らしの食と農を身近に、こころ豊かな社会の創造事業「アグリライフ」

<http://www.agri-life.net/>

3-1. アグリライフの活動概要

ICT を活かした安心・安全な食と農のある暮らしの根ざす地域社会作り、都市と農村の持続可能な交流と産業モデル作りを行う。なお、アグリライフは2005年より実施している「こちネット」の掲げる理念「障害の有無や、性別、年齢にかかわらず自律性、自発性、創造力を発揮できる安心・安全な社会モデル作り」はそのまま踏襲し、2009年6月1日付けで発展的改称した事業である。アグリライフの事業は、上記理念を掲げる事業を行う主催事業と、他団体・企業に対する企画立案、各種支援事業に分けられる。アグリライフは、2011年1月末をもってすべての事業を終了し、現在は新たなプロジェクトを休止している。

3-2. アグリライフの各種活動実績

本年度の活動実績なし。

3-3. アグリライフ運営体制

■ 運営体制

【責任者体制】

役職	氏名	所属
事業統括責任者	隅岡 敦史	NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事

【担当顧問】

氏名	所属
北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長

4. 研究会事業（産官民学の活発な人材交流）

4-1. 京都研究会

毎年恒例となっている研究会事業の京都研究会について、2017-2018年度は2018年1月19日（金）に開催を予定している。内容は以下の通り。

■ 第19回京都研究会 2017-2018

<http://www.sccj.com/kk/2017-2018/>

「ITで持続可能にできるか？人口減少社会」

【内容】

13:00～ 受付開始

13:30～13:35 開会の挨拶：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）

13:35～14:20 「人口減少のインパクトに対する緩和策と適応策を考える」

講演：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/
NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター代表理事）、

14:20～14:50 「人口減少で到来する農山村の未来と生き残るヒント」

講演：隅岡 敦史（NPO法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター理事）

14:50～15:40 「人口減少をチャンスに変えるIT活用とその可能性」

講演：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエイショ
ン最高顧問/NPO 法人日本サステイナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

15:40～15:55 休憩

15:55～16:45 「ポケットカルテ最新情報～電子版母子健康手帳リリース～」

講演：北岡 有喜（独立行政法人国立病院機構 京都医療センター医療情報部長/NPO 法人日
本サステイナブル・コミュニティ・センター顧問）

16:45～16:50 ステージ調整

- 16:50～17:20 【総合討論会】『ITで持続可能にできるか？人口減少社会』
 コーディネーター：新川 達郎（同志社大学大学院総合政策科学研究科教授/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター代表理事）・
 17:20～ 閉会の挨拶：竹原 司（インフォグリーン株式会社代表取締役/株式会社デザイン・クリエーション最高顧問/NPO法人日本サステナブル・コミュニティ・センター副代表理事）

第2部 分科会（茶話会）：閉会后～19:00

【会場】京都市国際交流会館 第2会議室
 住所：京都市左京区粟田口鳥居町2-1 京都市国際交流会館内
 電話：075-752-3010【参加費】有料

- ・研究会（13:30～）のみの参加
 一般：1,000円
 SCCJ会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：無料
- ・研究会、分科会（閉会后～19:00）すべて参加
 一般：2,000円
 SCCJ会員（みあこ・どこカル、ネット企業・団体会員/個人・学生・ベテラン会員）および地方公共団体職員の方：無料

【運営体制】

主催：特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター

後援：京都府、京都市、京都新聞社、ITコンソーシアム京都

【定員】220名

5. 広報・マーケティング

Webサイト、プレスリリース、各種メールリストでの広報・マーケティングを行った。

5-1. 各種メールリスト運営

SCCJ関連で、テーマ、目的別のメールリストが10数本あり、ネット上で協働作業や情報交換を行っている。その中でも一般情報交換用メールリスト「aibousan」は、誰でも入れる双方向型のメールリストで、設立当初の1999年の190名から、2017年12月末に登録者は549名である。

5-2. Webサイト運営

2017年現在運営しているサイトは以下の通り。

- ・SCCJ <http://www.sccj.com/>
- ・「みあこネット」方式普及支援事業 <http://www.miako.net/>
- ・どこカル ネット <http://www.dokokaru.net>
- ・ポケットカルテ <http://pocketkarte.net/>
- ・アグリライフ <http://www.agri-life.net/>

6. 会員について（2017年12月末現在）

<SCCJ正会員>

会員種別	継続	新規	計
一般	30	8	38
学生	0	0	0
合計	30	8	38

<どこカル ネット企業・団体会員>34社
 詳細は「どこカル ネット」項目を参照のこと。

II センター運営に関する活動

1. 総会

特定非営利活動法人日本サステナブル・コミュニティ・センター 総会

日時： 2017年2月16日（金） 19:00-19:30
 会場： どこカル ネット事務局（京都市伏見区深草枯木町 33-1-303）
 2016年度活動報告・収支報告、2017年事業について了承された。

2. 2017年度 SCCJ 理事会開催日

下記の日程に於いて、理事、事務局スタッフによる定期理事会を開催した。

- ・ 2017年1月19日
- ・ 2017年2月16日
- ・ 2017年3月16日
- ・ 2017年4月20日
- ・ 2017年5月18日
- ・ 2017年6月15日
- ・ 2017年7月20日
- ・ 2017年8月17日
- ・ 2017年9月21日
- ・ 2017年10月19日
- ・ 2017年11月21日
- ・ 2017年12月21日

3. 事務局体制 （2017年12月末現在）

（1）職員

常勤：2名

どこカル ネット事業運営責任者：事業統括責任者兼務

プロジェクト・コーディネータ：小川麻理

どこカル ネット事務局スタッフ：横田健吾

どこカル ネットボランティア：5名

4. 理事、監事、顧問 （2017年12月末現在）

（50音順）

代表理事	新川 達郎	同志社大学大学院総合政策科学研究科教授
理事	竹原 司 (副代表理事)	インフォグリーン株式会社代表取締役社長／株式会社デザイン・クリエイション最高顧問／社団法人コンピュータソフトウェア協会理事・名誉会員
	平澤 創	株式会社フェイス代表取締役社長
	隅岡 敦史	静原ミレットファーム
監事	土井 充	公認会計士 土井充事務所
顧問	跡田 直澄	嘉悦大学ビジネス創造学部学部教授
	北岡 有喜	国立病院機構京都医療センター医療情報部長
	國領 二郎	慶應義塾常任理事
	辻 正次	学校法人八代学院神戸国際大学経済学部教授
	町田 洋次	元社団法人ソフト化経済センター理事長
	三木 秀夫	弁護士・大阪 NPO センター理事

以上